

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和5年3月5日 13時30分～16時)

注意事項

- 1. 試験問題の数は122問で解答時間は正味2時間30分です。
- 2. 解答方法は次のとおりです。

(1) 各問題には1から4までの4つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 問題 100 県庁所在地は (例2) 問題 101 県庁所在地はどれか。

どれか。

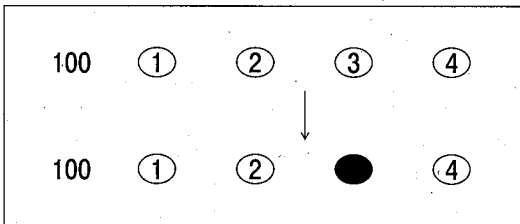
- 1. 栃木市
- 2. 川崎市
- 3. 神戸市
- 4. 倉敷市

2つ選べ。

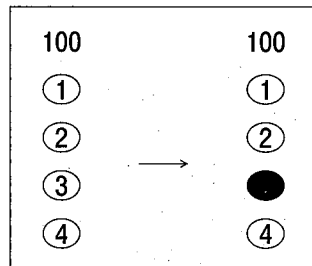
- 1. 宇都宮市
- 2. 川崎市
- 3. 神戸市
- 4. 倉敷市

(例1)の正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合

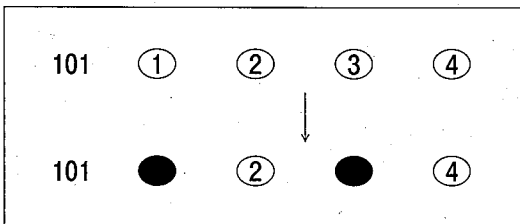


答案用紙②の場合

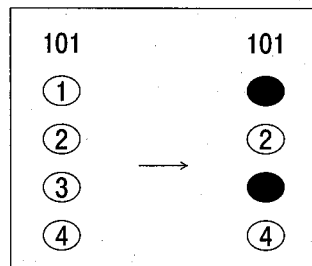


(例2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の①と③をマークすればよい。

答案用紙①の場合



答案用紙②の場合



記入上の注意事項

- ① 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例……● (濃くマークすること。)

悪い解答の例……⊖ ⊕ √ ● (解答したことにならない。)

- ② 答えを修正した場合には、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり ● のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

- ③ (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

- ④ 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

問題 1 一次予防活動はどれか。2つ選べ。

1. 予防接種
2. がん検診
3. ストレスチェック制度
4. 脳卒中リハビリテーション

問題 2 分析疫学でまれな疾患に用いられるのはどれか。

1. 症例報告
2. 症例対照研究
3. コホート研究
4. 無作為化比較対照試験

問題 3 ロコモティブシンドロームの直接原因となるのはどれか。

1. 高血圧
2. 糖尿病
3. 骨粗鬆症
4. 脂質異常症

問題 4 国民の健康づくりのための食生活指針において目標とされる1日の野菜摂取量はどれか。

1. 150 g 以上
2. 250 g 以上
3. 350 g 以上
4. 450 g 以上

問題 5 気分障害に分類されるのはどれか。

1. うつ病
2. 過食症
3. 認知症
4. 統合失調症

問題 6 保健所で正しいのはどれか。

1. 医療法で規定されている。
2. 地域住民に対して健康診査を行う。
3. 各都道府県に1か所設置されている。
4. 医事および薬事に関する事項を取り扱う。

問題 7 寄生虫はどれか。

1. カンジダ
2. アニサキス
3. クラミジア
4. リケッチア

問題 8 予防接種で誤っているのはどれか。

1. インフォームド・コンセントが行われる。
2. A類疾病は集団予防目的に比重が置かれている。
3. 痘瘡(天然痘)は予防接種によって根絶された。
4. 不活化ワクチンは生きた病原性微生物を弱毒化している。

問題 9 消毒用エタノールで誤っているのはどれか。

1. 結核菌に有効である。
2. 金属器具の消毒に用いる。
3. 予防接種部位の消毒に用いる。
4. 排泄物による汚染物の消毒に用いる。

問題 10 スタンダードプリコーションにおいて、感染性微生物を含んでいるものとして処理するのはどれか。

1. 病室のテレビ
2. 未使用の注射針
3. 患者の膿が付着したリネン
4. 医療者の汗を拭いたタオル

問題 11 WBGT 値を用いて発症を予防するのはどれか。

1. 潜函病
2. 熱中症
3. 騒音性難聴
4. 頸肩腕症候群

問題 12 感染性廃棄物で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 地方自治体で処理する。
2. 一般廃棄物として処理する。
3. マニフェスト伝票形式によって処理をする。
4. 病院で血液に汚染されたガーゼが該当する。

問題 13 身体障害者手帳の肢体不自由の重症度で、「一側上肢の著しい機能障害」に該当するのはどれか。

1. 1 級
2. 2 級
3. 3 級
4. 4 級

問題 14 ADL の評価項目で誤っているのはどれか。

1. バーセル指数には入浴が含まれる。
2. バーセル指数にはコミュニケーションが含まれる。
3. 機能的自立度評価表(FIM)には階段昇降が含まれる。
4. 機能的自立度評価表(FIM)には記憶が含まれる。

問題 15 知能を評価するのはどれか。

1. ベントン視覚記銘検査
2. ミネソタ多面人格目録
3. ロールシャッハ・テスト
4. 内田クレペリン精神検査

問題 16 失語症で正しいのはどれか。

1. 純粹語啞は発語面に限定した障害である。
2. 純粹語聾では非言語音の理解が不良である。
3. 超皮質性運動性失語では復唱が障害される。
4. ジャーゴンはブローカ失語に特徴的である。

問題 17 ボツリヌス毒素治療薬が痙縮に対して主に作用する部位はどれか。

1. 軸索
2. 脊髄神経節
3. 神経筋接合部
4. 脊髄前角細胞体

問題 18 セルフケアに関連した ADL を主として訓練する職種はどれか。

1. 理学療法士
2. 作業療法士
3. 医療福祉士
4. 介護支援専門員

問題 19 訓練と内容の組合せで誤っているのはどれか。

1. スクワット ————— 筋力増強運動
2. 緊縛帯訓練 ————— 協調運動練習
3. フレンケル体操 ————— 関節可動域運動
4. トレッドミル歩行 ————— 持久性運動

問題 20 プラスチック製短下肢装具で誤っているのはどれか。

1. 軽量である。
2. 通気性が乏しい。
3. 関節角度を制御しやすい。
4. 加熱によって形の調整が可能である。

問題 21 パーキンソン(Parkinson)病のヤール分類のⅡに相当するのはどれか。

1. 両側性パーキンソニズムがあるが、姿勢反射障害はなく、歩行可能である。
2. 中等度のパーキンソニズムがあり、姿勢反射障害があるが、歩行可能である。
3. 高度障害を示すが、歩行可能である。
4. 車椅子を使用した生活となる。

問題 22 レビー小体型認知症で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 幻視を特徴とする。
2. 症状は段階的に進行する。
3. パーキンソン症状が出現する。
4. コンビニなどで品物を持ち去る。

問題 23 70歳の女性。脳梗塞を発症し、病院で急性期治療とリハビリテーション治療を終えて退院した。動作は緩慢であるが日常生活に支障はない。介護保険の申請をしたが非該当と判定された。

介護予防についての適切な相談先はどれか。

1. 保健所
2. 福祉事務所
3. 精神保健福祉センター
4. 地域包括支援センター

問題 24 診察で正しいのはどれか。

1. 診療録は記載しなくてもよい。
2. 主観的情報より客観的情報が重要である。
3. 治療者と患者との信頼関係の構築は治療効果に影響する。
4. 個人情報を保護するために診療録は速やかに破棄することが望ましい。

問題 25 医療面接で正しいのはどれか。

1. 患者像を始めに確認することが重要である。
2. 閉ざされた質問が開かれた質問より優れている。
3. 緊張をほぐすために敬語は用いないほうがよい。
4. 治療者が必要だと思う情報を聞くことが重要である。

問題 26 マン・ウェルニッケ姿勢を呈するのはどれか。

1. パーキンソン(Parkinson)病
2. 特発性側弯
3. 脳血管障害
4. くる病

問題 27 舞踏運動がみられるのはどれか。

1. 肝硬変
2. バセドウ(Basedow)病
3. パーキンソン(Parkinson)病
4. ハンチントン(Huntington)病

問題 28 麻痺すると下垂手を生じるのはどれか。

1. 尺骨神経
2. 正中神経
3. 橈骨神経
4. 筋皮神経

問題 29 健常者で聴取されない心音はどれか。

1. I 音
2. II 音
3. III 音
4. IV 音

問題 30 悪性の皮下腫瘤を触診したときの特徴はどれか。

1. 圧痛がある。
2. 可動性がある。
3. 表面が凹凸不整である。
4. 表面皮膚に熱感がある。

問題 31 下肢の深部腱反射が亢進するのはどれか。

1. 頸髄損傷
2. 重症筋無力症
3. 筋ジストロフィー
4. ギラン・バレー (Guillain-Barré) 症候群

問題 32 肝細胞癌の原因とならないのはどれか。

1. 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)
2. A型肝炎
3. B型肝炎
4. C型肝炎

問題 33 空気感染するのはどれか。

1. 肺結核
2. 誤嚥性肺炎
3. 慢性気管支炎
4. インフルエンザ

問題 34 慢性閉塞性肺疾患(COPD)で正しいのはどれか。

1. 呼気が延長する。
2. 漏斗胸を呈する。
3. 肺肝境界が上昇する。
4. 肺野の打診で濁音を呈する。

問題 35 高血圧に対する生活習慣の改善で適切でないのはどれか。

1. BMIは25未満に維持する。
2. 1日あたりの食塩摂取量は10gを目標にする。
3. 野菜、果物、低脂肪乳製品を積極的に摂取する。
4. ややきつい程度の有酸素運動を1日30分以上行う。

問題 36 悪性リンパ腫で正しいのはどれか。

1. 無痛性リンパ節腫大を呈する。
2. 異型リンパ球が増加する。
3. 遺伝性疾患である。
4. 抗菌薬が著効する。

問題 37 多発性骨髄腫の所見で誤っているのはどれか。

1. 貧血
2. 腎機能障害
3. 舌乳頭萎縮
4. 脊椎圧迫骨折

問題 38 糖尿病の診断基準で正しいのはどれか。

1. HbA1c 6.5 %以上
2. 随時血糖値 126 mg/dL 以上
3. 空腹時血糖値 110 mg/dL 以上
4. 75 g 経口ブドウ糖負荷試験で1時間後血糖値 200 mg/dL 以上

問題 39 関節リウマチで誤っているのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 背部痛が朝方に生じる。
3. 中手指節関節に好発する。
4. 関節炎は左右対称に起きる。

問題 40 ネフローゼ症候群の所見で誤っているのはどれか。

1. 浮腫
2. 尿蛋白陽性
3. 血清総蛋白低下
4. 低コレステロール血症

問題 41 腎前性急性腎障害(AKI)の原因となるのはどれか。

1. 脱水
2. 尿管結石
3. 急速進行性糸球体腎炎
4. 非ステロイド性抗炎症薬

問題 42 心房細動と診断されている患者が施術中に突然失語となった。

最も考えられるのはどれか。

1. アテローム血栓性脳梗塞
2. くも膜下出血
3. ラクナ梗塞
4. 脳塞栓

問題 43 熱中症の治療で補給するのに適切なのはどれか。

1. 塩分のみ
2. 水分と塩分
3. 糖分のみ
4. 水分と糖分

問題 44 40歳の女性。1か月前から動悸と手の震えがあり、10日前からしゃがんだときに手すりをつかまないと立ち上がりにくくなった。脈拍112拍/分・整、頸部の腫大と眼球突出がある。

考えられる診断はどれか。

1. 橋本病
2. バセドウ(Basedow)病
3. 原発性アルドステロン症
4. パーキンソン(Parkinson)病

問題 45 76歳の男性。1年前から、直前の食事の内容が思い出せないことや物をよく失くしてしまうこと、慣れていない道で迷ってしまうようになったことを家族から指摘されている。物取られ妄想もみられた。

この患者でみられるのはどれか。

1. 動作が緩慢で転倒しやすい。
2. 他人に対して遠慮ができず暴力をふるう。
3. 自分の部屋に黒い服を着た人が立って、じっと自分を見ていると訴える。
4. 質問に答えるときに、一緒にいる家族のほうをその都度振り返って確認する。

問題 46 創傷分類と説明の組合せで誤っているのはどれか。

1. 刺創 —— 鋭利な刃物などによる刺し傷
2. 挫創 —— 鋭利な器具による切開創
3. 擦過傷 —— 擦過による皮膚表面の断続的な剥離
4. 銃創 —— 銃弾による傷

問題 47 蜂窩織炎の症状で誤っているのはどれか。

1. びまん性腫脹
2. 熱 感
3. 疼 痛
4. 排 膿

問題 48 感染症で誤っているのはどれか。

1. 破傷風では開口障害がみられる。
2. 丹毒はウェルシュ菌によるものが多い。
3. 肺アスペルギルス症では菌球形成がみられる。
4. 化膿性骨髄炎は黄色ブドウ球菌によるものが多い。

問題 49 ショックと原因の組合せで正しいのはどれか。

1. 循環血液量減少性ショック ———— 緊張性気胸
2. 心原性ショック ————— 肺塞栓
3. 血液分布異常性ショック ————— アナフィラキシー
4. 閉塞性ショック ————— 心筋梗塞

問題 50 輸血の副作用で正しいのはどれか。

1. 滴下速度と無関係である。
2. 移植片対宿主反応がある。
3. 発疹は出現すると長時間持続する。
4. 腎不全は不適合輸血直後に起こる。

問題 51 消毒と滅菌で誤っているのはどれか。

1. グルタラールは粘膜に対して刺激性が弱い。
2. クロルヘキシジンは MRSA に対して有効である。
3. 次亜塩素酸ソーダはウイルスに対する効果が高い。
4. ポビドンヨードは蛋白質の存在下で殺菌力が低下する。

問題 52 外出血の部位と症候の組合せで誤っているのはどれか。

1. 気管 ——— 喀血
2. 小腸 ——— 吐血
3. 膀胱 ——— 血尿
4. 子宮 ——— 性器出血

問題 53 成人に対する胸骨圧迫心臓マッサージのテンポで適切なのはどれか。

1. 40 回/分
2. 60 回/分
3. 80 回/分
4. 100 回/分

問題 54 心原性脳塞栓症の治療に続いて起こり得るのはどれか。

1. ウィリス動脈輪閉塞症
2. 脳動静脈奇形
3. 動脈瘤破裂
4. 出血性梗塞

問題 55 胸部外傷で正しいのはどれか。

1. 緊張性気胸の治療は酸素療法である。
2. 内開放性気胸では膿胸を起こしやすい。
3. 肋骨骨折の好発部位は第1～3肋骨である。
4. 第5～8肋骨の多発骨折で胸壁動揺を起こしやすい。

問題 56 20歳の男性。大学でラグビー部に所属している。練習中、グラウンドに激しく頭をぶつけて10秒間の意識消失を起こした。1時間後には症状は何もなかった。

正しいのはどれか。

1. 2度脳しんとうである。
2. 意識が改善すれば神経学的検査は必要ない。
3. 翌日の練習を許可する。
4. セカンドインパクトシンドロームに注意する。

問題 57 スポーツ外傷で誤っているのはどれか。

1. 打撲が捻挫よりも多い。
2. 中学校では原因として球技が多い。
3. サッカーでは足関節の外傷が多い。
4. スノーボードでは膝関節の外傷が多い。

問題 58 厚生労働省の早期リウマチの診断基準の項目で誤っているのはどれか。

1. 朝のこわばり
2. リウマトイド結節
3. リウマトイド因子
4. 三つ以上の関節の腫脹

問題 59 脆弱性骨折でないのはどれか。

1. 肋骨骨折
2. 膝蓋骨骨折
3. 胸椎圧迫骨折
4. 大腿骨頸部骨折

問題 60 高身長を呈するのはどれか。

1. 大理石骨病
2. 軟骨無形成症
3. モルキオ (Morquio) 病
4. マルファン (Marfan) 症候群

問題 61 足の舟状骨が無腐性壊死となるのはどれか。

1. セーバー (Sever) 病
2. ブラント (Blount) 病
3. ケーラー (Köhler) 病
4. ペルテス (Perthes) 病

問題 62 四肢循環障害で正しいのはどれか。

1. レイノー(Raynaud)症候群は若い男性が多い。
2. 静脈瘤は深部静脈血栓に続発するものが多い。
3. 閉塞性動脈硬化症は精神的ストレスが関係する。
4. バージャー(Buerger)病は生命予後が良好である。

問題 63 腰部脊柱管狭窄症で陽性となるテストはどれか。

1. ケンプ
2. アドソン
3. ジャクソン
4. スパーリング

問題 64 上肢疾患と好発年齢の組合せで正しいのはどれか。

1. 離断性骨軟骨炎 ————— 壮年期
2. 上腕骨外科頸骨折 ————— 老年期
3. 石灰沈着性滑液包炎 ————— 学童期
4. 上腕二頭筋断裂 ————— 青年期

問題 65 フォルクマン(Volkmann)拘縮の阻血症状でないのはどれか。

1. 疼痛
2. 皮膚紅潮
3. 運動麻痺
4. 脈拍消失

問題 66 大腿骨頭すべり症で正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 肥満型に多い。
3. アリス徴候陽性となる。
4. 好発年齢は壮年期である。

問題 67 76歳の女性。駐車場で転倒し右手を衝いて受傷した。受傷時の単純エックス線写真(別冊 No. 1)を別に示す。

ギプスによる固定を行ったが、ギプス除去後に注意すべき所見はどれか。

1. 弾発指
2. 母指の屈曲障害
3. スワンネック変形
4. 手関節尺側の疼痛

別 冊 No. 1

写 真

問題 68 骨折の治癒過程で正しいのはどれか。

1. 炎症期 → 仮骨形成期 → 仮骨硬化期 → リモデリング期
2. 炎症期 → 仮骨硬化期 → 仮骨形成期 → リモデリング期
3. 炎症期 → リモデリング期 → 仮骨形成期 → 仮骨硬化期
4. 炎症期 → 仮骨形成期 → リモデリング期 → 仮骨硬化期

問題 69 骨折型を受傷外力の小さい順から並べると正しいのはどれか。

1. 横骨折 ————— 斜骨折 ————— 螺旋骨折
2. 斜骨折 ————— 螺旋骨折 ————— 横骨折
3. 螺旋骨折 ————— 横骨折 ————— 斜骨折
4. 横骨折 ————— 螺旋骨折 ————— 斜骨折

問題 70 疲労骨折と発生部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 下位頸椎 ————— 棘突起
2. 脛 骨 ————— 顆間隆起
3. 距 骨 ————— 頸 部
4. 肋 骨 ————— 第 12

問題 71 陳旧性骨折となって発見される頻度が高いのはどれか。2つ選べ。

1. スミス(Smith)骨折
2. 舟状骨骨折
3. 有鈎骨鈎骨折
4. 第5中手骨頸部骨折

問題 72 小児骨折で偽関節になりやすいのはどれか。

1. 上腕骨外顆骨折の回転転位
2. 橈骨頸部骨折の屈曲転位
3. 大腿骨骨幹部骨折の捻転転位
4. 腓骨骨幹部骨折の側方転位

問題 73 脱臼の固有症状はどれか。

1. 限局性圧痛
2. 異常可動性
3. 弾発性抵抗
4. 機能障害

問題 74 脱臼の合併症はどれか。

1. 化膿性骨髓炎
2. 阻血性壊死
3. 変形治癒
4. 関節強直

問題 75 関節を長期間固定することで起こるのはどれか。

1. 関節軟骨の栄養障害
2. 深部腱反射の亢進
3. 筋の阻血性拘縮
4. 靭帯の弛緩

問題 76 第1仙骨神経根障害の所見はどれか。

1. FNSテスト陽性
2. 足関節背屈不能
3. 足背内側部感覚障害
4. アキレス腱反射低下

問題 77 RICE 処置でEの目的はどれか。

1. 関節可動域を保持する。
2. 静脈還流を促進させる。
3. 神経伝導速度を速める。
4. 血管透過性を亢進させる。

問題 78 高齢者の転倒リスクでないのはどれか。

1. 足元を注視して歩いている。
2. 踵から接地して歩いている。
3. 遠近両用メガネをかけている。
4. たくさんの薬を服用している。

問題 79 健康管理として女性アスリートの三主徴に含まれないのはどれか。

1. 無気力
2. 無月経
3. 骨粗鬆症
4. エネルギー不足

問題 80 尺骨神経管での絞扼によってみられる感覚障害部位はどれか。

1. 手掌尺側
2. 手掌橈側
3. 手背尺側
4. 手背橈側

問題 81 放射線を用いないのはどれか。2つ選べ。

1. CT 検査
2. MRI 検査
3. 超音波検査
4. 単純エックス線検査

問題 82 部位と特有の骨折の組合せで正しいのはどれか。

1. 第1頸椎 ———— ジェファーソン(Jefferson)骨折
2. 第2頸椎 ———— ティアドロップ骨折
3. 第3頸椎 ———— ハングマン骨折
4. 第4頸椎 ———— チャンス(Chance)骨折

問題 83 頸椎の椎体圧迫骨折で正しいのはどれか。

1. 好発部位は第7頸椎である。
2. 椎体は楔状変形をきたす。
3. 後縦靱帯が損傷されやすい。
4. 中心性脊髄損傷が生じやすい。

問題 84 胸骨骨折で正しいのはどれか。

1. 介達外力によるものが多い。
2. 胸骨体の骨折が多い。
3. 斜骨折が最も多い。
4. 胸式呼吸がみられる。

問題 85 小児が急に腕を動かさなくなった。考えにくいのはどれか。

1. 鎖骨骨折
2. 肩関節脱臼
3. 上腕骨顆上骨折
4. 肘内障

問題 86 肩甲骨骨折で正しいのはどれか。

1. 骨体部骨折では縦骨折が多い。
2. 肩峰骨折では著しく転位する。
3. 上角骨折では上外方に転位する。
4. 下角骨折では前外上方に転位する。

問題 87 コーレス (Colles) 骨折後に疼痛が残存する要因でないのはどれか。

1. 長母指伸筋腱断裂
2. 尺骨茎状突起偽関節
3. 遠位橈尺関節不全脱臼
4. 三角線維軟骨複合体損傷

問題 88 骨折で血尿が生じやすいのはどれか。

1. 尾骨
2. 恥骨
3. 坐骨
4. 仙骨

問題 89 有痛性分裂膝蓋骨で正しいのはどれか。

1. 中高年に多い。
2. 安静時に痛みがある。
3. 関節水症がみられる。
4. 大腿四頭筋ストレッチが有効である。

問題 90 下腿骨骨幹部骨折で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 好発部位は脛骨中央部である。
2. 横骨折は前方凸変形となりやすい。
3. 中下1/3の骨折では偽関節になりやすい。
4. 斜骨折の骨折線は前内方から後外上方へ走る。

問題 91 中足骨骨折で正しいのはどれか。

1. 骨幹部骨折は介達外力で発生することが多い。
2. 疲労骨折は第2・第3中足骨に発生することが多い。
3. ジョーンズ(Jones)骨折は第4中足骨に起こる。
4. 長腓骨筋の収縮で第5中足骨基部裂離骨折が起こる。

問題 92 顎関節脱臼の整復で正しいのはどれか。

1. ヒポクラテス法では術者は患者の後方に位置する。
2. 口外法では術者の母指球部をオトガイ部にあてる。
3. 整復中は患者に発声しないよう指示する。
4. 整復後はオトガイ部を把持する。

問題 93 胸鎖関節前方脱臼の症状で正しいのはどれか。

1. 不全脱臼が多い。
2. 呼吸障害をきたす。
3. 胸骨が前方に突出する。
4. 肩関節の外転が制限される。

問題 94 股関節後方脱臼で正しいのはどれか。

1. 坐骨脱臼では腸骨大腿靭帯は断裂する。
2. 腸骨脱臼では下肢は屈曲外転外旋位となる。
3. 腸骨脱臼では坐骨脱臼に比べ下肢の短縮が大きくなる。
4. 坐骨脱臼では腸骨脱臼に比べ股関節屈曲角度は小さくなる。

問題 95 外傷性股関節脱臼の合併症でないのはどれか。

1. 外反股
2. 骨化性筋炎
3. 大腿骨頭壊死
4. 坐骨神経麻痺

問題 96 膝蓋骨脱臼で正しいのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 内反膝が多い。
3. 内側脱臼が多い。
4. 自然整復されるものが多い。

問題 97 骨棘が生じるのはどれか。

1. 肩関節不安定症
2. ベネット(Bennett)損傷
3. バンカート(Bankart)損傷
4. ヒル・サックス(Hill-Sachs)損傷

問題 98 絞扼部位と神経の組合せで正しいのはどれか。

1. クアドリラテラルスペース ———— 腋窩神経
2. 上腕骨骨幹部 ————— 正中神経
3. フローセの腱弓 ————— 尺骨神経
4. ギヨン管 ————— 橈骨神経

問題 99 神経障害と検査・徴候の組合せで正しいのはどれか。

1. リュックサック麻痺 ———— スパーリングテスト
2. 肘部管症候群 ————— 肘屈曲テスト
3. 後骨間神経麻痺 ————— ティアドロップサイン
4. 手根管症候群 ————— フローマンサイン

問題 100 病名と陽性となる検査・所見の組合せで正しいのはどれか。

1. 下前腸骨棘骨折 ————— ルドロフ症候
2. 腸腰筋拘縮 ————— トーマステスト
3. アキレス腱周囲炎 ————— トンプソンテスト
4. 踵骨骨折 ————— ナウマン症候

問題 101 単純性股関節炎で正しいのはどれか。

1. 片側性が多い。
2. 高齢者に好発する。
3. 外旋が制限される。
4. 予後不良である。

問題 102 大腿部打撲後のスポーツ復帰の条件となるのはどれか。

1. 疼痛が完全になくなった。
2. 可動域が健側の 90 %まで回復した。
3. 筋力が健側の 70 %まで回復した。
4. 敏捷性が受傷前の 50 %のレベルに到達した。

問題 103 15歳の男子。柔道の試合中投げられ右手掌を衝き、肘関節外反強制で上腕遠位端部を負傷した。肘関節内側に著明な腫脹と限局性圧痛および軋轢音がみられた。

損傷される可能性が高い神経はどれか。

1. 橈骨神経
2. 筋皮神経
3. 正中神経
4. 尺骨神経

問題 104 9歳の男児。公園の遊具からジャンプし、着地に失敗して手を衝いて転倒した。自宅に帰ったところ、肘から前腕にかけて腫れてきたので来所した。尺骨骨幹部に著明な圧痛がみられ、肘の屈伸運動は可能であったが、前腕の回内回外はできなかった。

考えられるのはどれか。2つ選べ。

1. 橈骨頭脱臼
2. 橈骨骨幹部骨折
3. 尺骨頭脱臼
4. 尺骨骨幹部骨折

問題 105 21歳の男性。柔道の乱取り中、背負い投げをかけられた際に左手を強く衝いた。稽古後、手関節部に疼痛を自覚したため来所した。医科での単純エックス線写真(別冊 No. 2)を別に示す。

誤っているのはどれか。

1. 長期間の固定が必要である。
2. 近位部が骨壊死になりやすい。
3. 手関節橈屈位で患部を触知しやすい。
4. 長母指伸筋腱と短母指伸筋腱に囲まれた部位に圧痛がみられる。

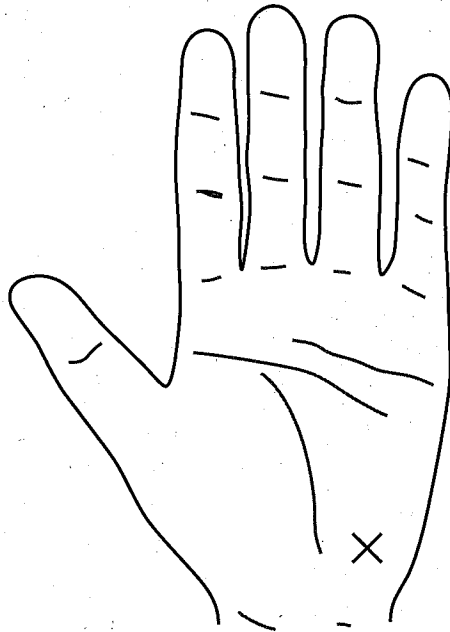
別 冊 No. 2

写 真

問題 106 25歳の男性。草野球でボールを打った瞬間から手のひらに強い痛みを自覚し、その後バットが握れなくなったため翌日来所した。図の部位に強い圧痛と腫脹があり、握り動作によって痛みが増強した。

考えられるのはどれか。

1. 有頭骨骨折
2. 月状骨骨折
3. 三角線維軟骨複合体損傷
4. 有鉤骨鉤骨折



問題 107 25歳の男性。交通事故で右大腿骨骨幹部骨折の診断を受け、即日入院となった。呼吸状態に異常はなかったが、翌日から急に息苦しさを訴え始めた。

他に考えられる症状はどれか。

1. 発汗低下
2. 血圧上昇
3. 低体温
4. 頻脈

問題 108 74歳の女性。階段を踏み外して転倒した。次第に痛みが強くなったので翌日歩いて来所した。医科での単純エックス線検査で大腿骨頸部の骨折と診断された。

正しいのはどれか。

1. 大転子高位が著明である。
2. 大腿近位に軽度の腫脹がある。
3. スカルパ三角部に軽度の圧痛がある。
4. 観血療法の絶対的な適応となる。

問題 109 75歳の女性。食事中に顎が閉まらなくなり来所した。半開口のまま、口の開閉はわずかに可能である。オトガイ部は左側に偏位している。患側の耳孔前方に陥凹を触知する。

考えられるのはどれか。

1. 右顎関節側方脱臼
2. 左顎関節側方脱臼
3. 右顎関節前方脱臼
4. 左顎関節前方脱臼

問題 110 41歳の男性。ランニング中、段差につまずいて右手掌を衝き、前腕を回内強制された。右肘関節前外側に疼痛、腫脹、変形がみられる。また、感覚障害はみられなかったが、運動障害はみられた。肘関節側面の単純エックス線写真(別冊 No. 3)を別に示す。

この場合の運動障害はどれか。

1. 手関節背屈
2. 手関節掌屈
3. MP 関節伸展
4. MP 関節屈曲

別 冊 No. 3 写 真

問題 111 16歳の男子。フィギュアスケートでジャンプに失敗し、肘伸展位で左手を衝き受傷した。肘頭が後方に突出した外観を呈している。

正しいのはどれか。

1. 肘関節屈伸運動で異常可動性を触知する。
2. 上腕筋腱の索状隆起を触知する。
3. 内側上顆骨折を合併しやすい。
4. 顆上骨折屈曲型との鑑別を要する。

問題 112 24歳の男性。ラグビーでタックルした際に、右手環指が相手のジャージに引っかかり受傷した。痛みが強くなかったためプレーを続行したが、終了後に指の違和感が強くなり来所した。来所時、PIPおよびDIP関節の自動的伸展は可能だが、DIP関節の自動的屈曲ができなかった。関節部に腫脹はみられなかった。

考えられる損傷部位はどれか。

1. 正中索
2. 終止腱
3. 掌側板
4. 深指屈筋腱

問題 113 21歳の男性。大学テニス部に所属している。右肩部周辺の鈍痛や易疲労感、挙上障害を訴え来所した。肩関節屈曲時に肩甲骨内側縁と肩甲骨下角が後方に突出するのがみられた。

考えられないのはどれか。

1. 前鋸筋麻痺
2. 僧帽筋麻痺
3. 菱形筋麻痺
4. 三角筋麻痺

問題 114 25歳の男性。右下肢痛を訴えて来所した。下腿外側から足背にかけて感覚異常があり、長母趾伸筋の筋力低下がみられた。股関節内転・内旋で症状が増悪した。

考えられるのはどれか。

1. 腰椎分離症
2. 梨状筋症候群
3. 腰部脊柱管狭窄症
4. 腰部椎間板ヘルニア

問題 115 41歳の男性。ソフトボールの試合中に遠投した際、右肩に鋭い痛みを感じて負傷退場した。氷で冷やし安静にしていたところ痛みは緩和したが、また痛みが増してきたので翌日来所した。肩部の腫脹はみられないが肩峰下部に圧痛がみられ、肩関節外転が制限されている。

陽性となる検査法はどれか。

1. ライトテスト
2. サルカスサイン
3. ヤーガソンテスト
4. ドロップアームサイン

問題 116 65歳の女性。1か月前、自宅の整理をしていて崩れそうになった重い荷物を支えようとしたとき、右上肢痛を自覚した。約1週で疼痛が軽減し、上肢もあまり不自由なく使えるようになったので放置していたが、肘屈曲時に上腕部の腫れが目立ってきたので来所した。右上腕前面に握りこぶし大の軟部腫瘤を触知する。

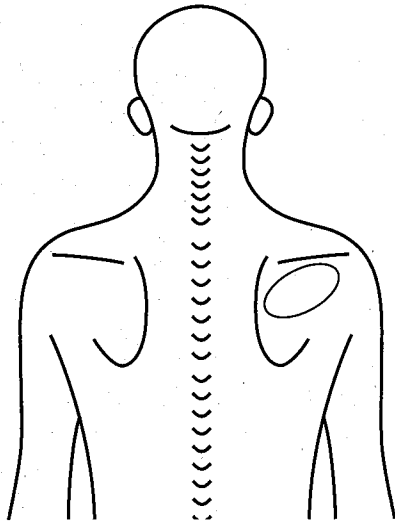
誤っているのはどれか。

1. 腱の変性が背景にある。
2. 最大筋力は正常である。
3. 保存療法が第一選択である。
4. 超音波観察が有用である。

問題 117 24歳の男性。バレーボール選手である。2か月前からスパイク時、右肩後方に痛みを自覚し軽減しないため来所した。図の楕円部に圧痛と筋萎縮があり、MMTで右肩関節外旋筋力のみが4と低下していた。肩関節の他動的可動域、腱反射、感覚に左右差はなく、スパーリングテストは陰性であった。

考えられるのはどれか。

1. C7神経根症
2. 長胸神経損傷
3. 腋窩神経損傷
4. 肩甲上神経損傷



問題 118 30歳の女性。10年ぶりにテニスを再開している。休暇を取り1週間連続でプレーしたところ、右肘関節外側が痛み始めた。2週間ほどテニスを控えていたが、仕事でパソコン入力作業にも支障をきたすようになった。

陽性となる徒手検査はどれか。

1. スピード
2. トムゼン
3. リフトオフ
4. フィンケルスタイン

問題 119 45歳の男性。植木業をしている。仕事で手を酷使しているが1か月前から右手関節痛を自覚し、軽減しないので来所した。手関節に運動痛および背屈制限がみられ、手関節伸筋支帯第4区画付近に圧痛がみられた。

この疾患で正しいのはどれか。

1. 加齢性の疾患である。
2. 尺屈回外テストは陽性となる。
3. リックマン分類が用いられる。
4. 後遺症は残らない。

問題 120 20歳の男性。大学レスリング部に所属している。高校3年生のとき、試合で右膝内側側副靭帯を損傷した。それ以来、練習中に数回、膝のロックングを経験している。昨日、練習中に右膝を負傷した。動かさなければ痛みはないが、内側関節裂隙に圧痛があり軽度の膝蓋跳動がみられた。

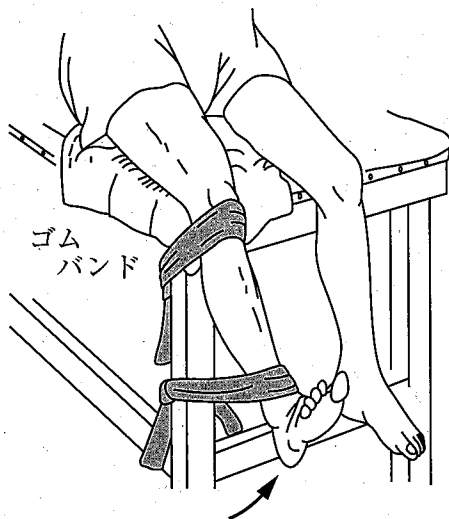
陽性となるのはどれか。

1. ステインマンテスト
2. エデンテスト
3. ホーマンズ徴候
4. ガワーズ徴候

問題 121 17歳の女性。バスケットボール試合中に右膝前十字靭帯を負傷し、3週後に再建術を受けた。図は術後8週での2本のゴムバンドを用いた大腿四頭筋の等張運動である。

下腿近位に当てたゴムバンドの役割はどれか。

1. 側方動揺性の制御
2. 膝蓋骨の安定化
3. 脛骨の前方移動抑制
4. 膝蓋靭帯の固定



問題 122 42歳の男性。マラソン愛好家。ランニング後に右足底踵部のしびれを自覚し、1か月間症状が変わらないため来所した。足趾を他動的に背屈しても症状に変化はなかったが、その際に内果部に当てた検者の母指の圧迫によって症状が増悪した。超音波観察を行ったところ、同部に境界明瞭な低エコーの腫瘍がみられた。

考えられるのはどれか。

1. 足底腱膜炎
2. 踵骨疲労骨折
3. ガングリオン
4. モートン(Morton)病

